

日本語と韓国語の依頼表現の使用実態

金昌男*

目次

1. はじめに	4.4 聞き手が母の場合
2. 調査対象	4.5 聞き手が中学生の場合
3. 調査方法と設問	4.6 聞き手が友人の場合
4. 調査結果と考察	4.7 聞き手が先輩の場合
4.1 聞き手が弟・妹の場合	4.8 聞き手が先生の場合
4.2 聞き手が兄・姉の場合	5. まとめ
4.3 聞き手が父の場合	

1. はじめに

依頼について、中道・土井(1995:84-85)では「相手の好意に期待して行為を行おう求める談話。(中略)、依頼は、話し手自身が利益を受けるために、強制力を伴わずに聞き手の行為を求める行為である。」と述べられている。

また、依頼の表現形式について、山田(2004:227-229)では以下のことを紹介している。

A1類：てくれる+命令：てくれ、ておくれ、てください、(てくださいませ)、お～ください

A2類：てちょうだい：て形、お+命令形

B1類：てくれる+疑問：てくれる?、てくれますか?、てくださる?、てくださいます?、お～くださる?、お～くださいます?等

* 金剛大学校 助教授 日本語学

- B2類：てくれる+否定+疑問：てくれない?、てくれませんか?、てくださらない?、てくださいませんか?、お〜くださらない?、お〜くださいませんか? 等
- B3類：てくれる+否定+推量+疑問：てくれないだろうか、(てくれないでしょうか)、てくださらないでしょうか、てくださいませんかでしょうか 等
- C1類：てもらう+可能+疑問：もらえる?、てもらえます?、ていただける?、ていただけます?、お〜いただける?、お〜いただけます? 等
- C2類：てもらう+可能+否定+疑問：てもらえない?、てもらえません?、ていただけない?、ていただけませんか?、お〜いただけない?、お〜いただけませんか? 等
- C3類：てもらう+可能+否定+推量+疑問：てもらえないだろうか、てもらえないでしょうか、ていただけないでしょうか、ていただけませんかでしょうか 等
- D1類：てもらう+可能+て(も)+評価+疑問：てもらって(も)いいですか、ていただいて(も)よろしいですか、てもらって(も)かまわないですか 等
- D2類：てもらう+可能+ても+評価+推量+疑問：てもらって(も)いいでしょうか、ていただいて(も)よろしいでしょうか、てもらって(も)かまわないでしょうか 等
- E1類：てもらう+(可能)+条件+評価+逆接言切り：てもらえるとありがたい(んだ)けど 等
- E2類：てくれる+条件+評価+逆接言切り：てくれるとありがたい(んだ)けど、など
- F類：てもらう+願望(+の+逆接言切り)：てもらいたい、てほしい、てもらいたいんだけど、てほしいんだけど
- G類：てもらう+意志+疑問：てもらおう、てもらおうか、てもらいましょか、ていただこうか、ていただきましょか

上記の山田(2004)が挙げている依頼の表現形式のうち、特に「〜てください」については依頼だけではなく、他の用法としても広く使われる。柏崎(1993:29)では「〜てください」の機能を「依頼」「命令・提示」「勧め」「激励」に分類しているのに対して、佐藤(1992:114)では「懇願」「勧め・提案・案内」「さしず・忠告・助言はげまし」「叱責・警告」「謝罪」「許可・許容」「同意」に分類している。この他にも「〜てください」については生越(1995)、中道・土井(1995)、吉川(1979)、前田(1990)、森田・松木(1989)、バルバラ(1997)などの研究がある。

本稿では、日本語母語話者(以下、「JJ」と韓国語母語話者(以下、「KK」と韓国語の依頼表現の使用実態を調べて両者の違いを明らかにする。さらに、KKの母語の干渉をみるために、韓国語母語話者(以下、「KK」)の韓国語の依頼表現の使用実態を考察する。

2. 調査の対象

調査対象はJJが100名、KJが100名、KKが100名で、計300名である。

JJはすべて東京都あるいは東京周辺の大学生であり、年齢は18歳から22歳である。男女別には各50名ずつである。

KJは全員韓国の大学で日本語を専攻している二年次以上の大学生で、三つの大学で調査を行った。年齢は20歳から27歳までで、20歳から23歳までが76.0%を占めている。また、男女別では、今回調査を行った大学の日本語学科では男性より女性が多く、男性23名に対して女性は77名である。さらに、日本語学習歴は1年以上4年以下が83.0%で、4年以上7年以下が17.0%であった。

KKは全員韓国にある大学の学生で、五つの大学で調査を行った。また、男女別には各50名ずつで、年齢は19歳から25歳までである。

なお、以上の調査は1998年5月下旬から9月初旬にかけて行った。

3. 調査方法と設問

調査はアンケートによる回答を基礎とした。今回の調査は大学で被調査者にアンケート用紙を配り、すぐにその場で回収するという方法を取った。

設問は、聞き手が家族の場合と家族以外の場合に分け、さらにそれを目下と目上に分けて作成した。なお、聞き手が家族の場合は年齢を基準にして目下を弟・妹、目上を兄・姉、父と母に分けた。また、聞き手が家族以外の場合は目下を中学生、目上を先輩と先生に、さらに同等関係を友人とした。設問の数は、家族との会話では弟・妹が1問、兄・姉が1問、父と母が各1問ずつの計4問で、家族以外との会話では中学生、友人、先輩、先生が各1問ずつの、合計8問である。

4. 調査結果と考察

4.1 聞き手が弟・妹の場合

☐(あなたの見たい本が弟あるいは妹の近くの本棚にある。)

あなた：ちょっと悪いけど、その本を取って _____

弟・妹：ええ、どの本、これ？

☞(본인이 보고 싶은 책이 동생 가까이 있는 책장에 있다)

본인 : 미안하지만, 거기에 있는 책 좀 가져_____

동생 : 어떤 책, 이거?

「表1」聞き手が弟・妹の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①~てくれる?	41.0(30.0/52.0)	38.0(26.1/41.6)	①~어 줄래?	41.0(38.0/44.0)
②~てくれない?	34.0(40.0/28.0)	7.0(13.0/5.2)	②~어 줘	25.0(16.0/34.0)
③~てくれ	8.0(16.0/0)	13.0(26.1/9.1)	③~어 주라	23.0(32.0/14.0)
④~てもらえる?	4.0(6.0/2.0)	0	④~어 주겠니?	5.0(8.0/2.0)
⑤~てくれないかな	3.0(4.0/2.0)	0	⑤~어 줄 수 있겠니?	1.0(2.0/0)
⑥~てくれないか	0	4.0(4.3/3.9)	⑥~어 주면 고맙겠다	1.0(0/2.0)
⑦~てもらえるかな	0	1.0(4.3/0)	⑦ 他の系	4.0(4.0/4.0)
⑧~てください	0	7.0(8.7/6.5)		
⑨ 他の系	10.0(4.0/16.0)	30.0(17.4/33.7)		
合計	100(100/100)	100(100/100)	合計	100(100/100)

(JJは日本人大学生、KJは韓国人大学生KKは韓国語母語話者を指す。また数字は%で、(/)の左側は男性、右側は女性である。以下同様)

4.2 聞き手が兄・姉の場合

☞(兄あるいは姉が買い物に行こうとしている。あなたは自分のジュースもお願いします。)

あなた : 買い物に行くだったら、(私・ぼく・おれ)にもジュースを買ってきて_____

兄・姉 : うん、わかった。

☞(형/오빠 또는 누나/언니가 슈퍼에 가려고 한다. 본인도 주스를 부탁한다)

본인 : 슈퍼에 가면 내 주스도 좀 사다_____

형/오빠·누나/언니 : 응, 알았어.

「表2」聞き手が兄・姉の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①～てくれない?	35.0(38.0/32.0)	4.0(8.7/2.6)	①～어 줘	59.0(50.0/68.0)
②～てくれる?	16.0(4.0/28.0)	34.0(26.1/36.4)	②～어 주라	14.0(18.0/10.0)
③～てくれ	8.0(16.0/0)	0	③～어 줄래?	11.0(10.0/12.0)
④～てくれよ	8.0(16.0/0)	4.0(8.7/2.6)	④～어 주세요	5.0(10.0/0)
⑤～てくれないかな	3.0(4.0/2.0)	16.0(13.0/16.9)	⑤～어 줘요	3.0(6.0/0)
⑥～てもらえない?	2.0(2.0/2.0)	0	⑥～어 줄 수 있어?	2.0(0/4.0)
⑦～てもらえる?	1.0(0/2.0)	0	⑦～어 줄래요?	1.0(2.0/0)
⑧～てくれませんか	0	4.0(4.3/3.9)	⑧～어 주시겠어요?	1.0(0/2.0)
⑨～てくれますか?	0	2.0(0/2.6)	⑨～어 주면 좋겠는데	1.0(0/2.0)
⑩～てもらいたんですが	0	1.0(0/1.3)	⑩～어 줬으면 좋겠는데	1.0(2.0/0)
⑪～てください	0	15.0(17.4/14.3)	⑪ 他の系	2.0(2.0/2.0)
⑫～てくださる?	0	4.0(4.3/3.9)		
⑬ 他の系	27.0(20.0/34.0)	16.0(17.5/15.5)		
合計	100(100/100)	100(100/100)	合計	100(100/100)

上記の表1は弟・妹に、表2は兄・姉に対して依頼する場合である。具体的にみると、JJの場合は、表1では「～てくれる?」が41.0%、「～てくれない?」が34.0%で「～てくれる?」がもっとも多く使われている。さらに「～てくれ」が8.0%、「～てもらえる?」が4.0%、「～てくれないかな」が3.0%となった。また、表2では「～てくれない?」が35.0%、「～てくれる?」が16.0%、「～てくれ」と「～てくれよ」が各8.0%、「～てくれないかな」が3.0%、「～てもらえない?」が2.0%、「～てもらえる?」が1.0%で、「～てくれない?」がもっとも多く使われている。この結果から、JJは弟・妹、また兄・姉に対して依頼する際に「～てくれる?」と「～てくれない?」、つまり「～てくれる系」を多く使っていることがわかった。一方、「～てもらう系」(「～てもらえる?」と「～てもらえない?」)はほとんど使用されない傾向にあった。

KJの場合は、表1では「～てくれる?」が38.0%と最も高く、その次に「～てくれ」が13.0%、「～てくれない?」と「～てください」が各7.0%、「～てくれないか」が4.0%、「～てもらえるかな」が1.0%となっている。また、表2では「～てくれる?」が34.0%、「～てくれないかな」が16.0%、「～てくれない?」「～てくれよ」「～てくれませんか」がそれぞれ4.0%で、表1と同じように「～てくれる?」の比率がもっとも高く表れている。

JJとKJを比べてみると、特に「～てくれない?」についてはJJは34.0%と35.0%に 対

て、KJは7.0%と4.0%で大差を見せている。また「～てください」についてはJJは弟・妹と兄・姉に対して一切使っていないのに対して、KJは弟・妹には7.0%、兄・姉には15.0%使用していた。

KKの場合は、表1では「～어 줄래?」が41.0%、「～어 줘」が25.0%、「～어 주라」が23.0%で、この三つの表現が89.0%を占めている。また、表2では「～어 줘」が59.0%でもっとも多く使われており、その次は「～어 주라」で14.0%、「～어 줄래?」11.0%、「～어 주세요」5.0%であった。この結果から、弟・妹と兄・姉に対して依頼する場合は主に「～어 줘」「～어 줄래?」「～어 주라」などを多く使っていることがわかる。但し、表2では表1で見られない敬意を表す「～어 주세요(5.0%)」「～어 줘요(3.0%)」「～어 줄래요?(1.0%)」「～어 주시겠어요?(1.0%)」などの敬語形式が見られた。このことから、JJとは違い、KKの中には兄・姉に対して敬語を使っている人がいることがわかる。

男女差については、JJが多く使っている「～てくれる?」と「～てくれない?」については前者は女性が、後者は男性が高くなっているが、このような傾向は後でみる聞き手が父と友人の場合も同じである。しかし、聞き手が母の場合には「～てくれない?」の比率が女性が男性より高く表れているため、今回の調査結果だけで「～てくれる?」と「～てくれない?」の男女差を判断することは難しいと思われる。KJの場合も「～てくれる?」と「～てくれない?」についてはJJと同様に考えられる。なお、「～てくれ」についてはJJは男性だけが使っていた。

また、KKについては、表1でも表2でも「～어 줄래?」と「～어 줘」は女性が男性より高いのに対して、「～어 주라」は男性が女性より高く表れた。

「他の系」については、JJは表1では10.0%、表2では27.0%であるが、それには「～てちょうだい系」と「～てほしい系」が多く含まれている。それに対して、KJは表1では30.0%、表2では16.0%で、その中にはこの文脈では誤用となる「～てやる/あげる系」と文法的に間違った表現が多く含まれている。また、KKは表1でも表2でもかなり低く表れている。

4.3 聞き手が父の場合

☐(あなたはバイクがほしいが、高く買えないのでお父さんに頼む。)

あなた：お父さん、バイクがほしいんだけど、買って_____

お父さん：バイクはあぶないんじゃないか?

☐(본인은 오토바이를 사고 싶은데, 너무 비싸서 못 사고 아버지께 부탁한다)

본인：오토바이가 꼭 필요한데 사_____

아버지 : 오토바이는 위험하잖아.

「表3」聞き手が父の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
① ~ ~ ~ してくれない?	41.0(46.0/36.0)	3.0(4.3/2.6)	① ~ ~ ~ 주세요	47.0(46.0/48.0)
② ~ ~ ~ くれる?	15.0(4.0/26.0)	2.0(8.7/0)	② ~ ~ ~ 주시면 안돼요?	9.0(4.0/14.0)
③ ~ ~ ~ してくれないかな	10.0(12.0/8.0)	0	③ ~ ~ ~ 주시겠어요?	7.0(12.0/2.0)
④ ~ ~ ~ てください	6.0(4.0/8.0)	44.0(43.5/44.2)	④ ~ ~ ~ 주실 수 있으세요?	7.0(6.0/8.0)
⑤ ~ ~ ~ てもらえない?	5.0(4.0/6.0)	0	⑤ ~ ~ ~ 고 싶어요	7.0(10.0/4.0)
⑥ ~ ~ ~ くれよ	4.0(8.0/0)	0	⑥ ~ ~ ~ 주시면 안될까요?	5.0(6.0/4.0)
⑦ ~ ~ ~ てもらえないかな	4.0(6.0/2.0)	0	⑦ ~ ~ ~ 줘	3.0(2.0/4.0)
⑧ ~ ~ ~ くれるかな	2.0(4.0/0)	0	⑧ ~ ~ ~ 주실래요?	2.0(2.0/2.0)
⑨ ~ ~ ~ くれませんか	2.0(4.0/0)	4.0(8.7/2.6)	⑨ ~ ~ ~ 주면 안되나?	2.0(0/4.0)
⑩ ~ ~ ~ もらえる?	2.0(2.0/2.0)	0	⑩ ~ ~ ~ 주시면 감사하겠습니다	1.0(2.0/0)
⑪ ~ ~ ~ もらえますか	2.0(0/4.0)	0	⑪ ~ ~ ~ 주시면 좋겠습니다	1.0(2.0/0)
⑫ ~ ~ ~ くださいませんか	0	13.0(8.7/14.3)	⑫ ~ ~ ~ 주셨으면 좋겠어요	1.0(2.0/0)
⑬ ~ ~ ~ くださる?	0	4.0(4.3/3.9)	⑬ ~ ~ ~ 줄 수 없으세요?	1.0(2.0/0)
⑭ ~ ~ ~ いただけませんか	0	2.0(4.3/1.3)	⑭ ~ ~ ~ 줘요	1.0(0/2.0)
⑮ 他の系	7.0(6.0/8.0)	28.0(17.5/31.1)	⑮ ~ ~ ~ 주소	1.0(2.0/0)
			⑯ 他の系	5.0(2.0/8.0)
合計	100(100/100)	100(100/100.1)	合計	100(100/100)

4.4 聞き手が母の場合

☞(あなたは父親に頼みたいことがあるが、自分で直接言うのがいやなので、代わりにお母さんが父親に頼むように、お願いする。)

あなた : ねえ、代わりにお父さんに言って_____

お母さん : はい、わかった。

☞(본인은 아버지께 부탁하고 싶은 것이 있는데, 자신이 직접 부탁 하기 싫어서 어머니께 자기 대신 말해 달라고 부탁한다)

본인 : (내·제) 대신 아버지께 말해_____

어머니 : 그래, 알았다.

「表4」聞き手が母の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①～てくれない?	44.0(40.0/48.0)	3.0(0/3.9)	①～어 주세요	58.0(58.0/58.0)
②～てくれる?	9.0(4.0/14.0)	4.0(8.7/2.6)	②～어 줘	14.0(4.0/24.0)
③～てくれよ	8.0(16.0/0)	2.0(4.3/1.3)	③～어 주실래요?	7.0(10.0/4.0)
④～てくれないかな	5.0(8.0/2.0)	1.0(4.3/0)	④～어 줘요	6.0(6.0/6.0)
⑤～てもらえる?	3.0(0/6.0)	0	⑤～어 주시겠어요?	4.0(8.0/0)
⑥～てもらえない?	3.0(4.0/2.0)	0	⑥～어 줄래요?	1.0(2.0/0)
⑦～てもらえないかな	2.0(2.0/2.0)	0	⑦～어 주시죠?	1.0(2.0/0)
⑧～てください	1.0(2.0/0)	57.0(39.1/62.3)	⑧～어 주면 안되?	1.0(0/2.0)
⑨～てくださいませんか	0	7.0(8.7/6.5)	⑨～어 주면 안되겠나?	1.0(0/2.0)
⑩～てくださる?	0	5.0(4.3/5.2)	⑩～어 주라	1.0(0/2.0)
⑪ 他の系	25.0(24.0/26.0)	21.0(30.6/18.2)	⑪～어 주소	1.0(2.0/0)
			⑫ 他の系	5.0(8.0/2.0)
合計	100(100/100)	100(100/100)	合計	100(100/100)

上記の表3と表4は父と母に対して依頼する場合である。JJの場合は、表3では「～てくれない?」が41.0%、「～てくれる?」が15.0%、「～てくれないかな」が10.0%などで、表4では「～てくれない?」が44.0%、「～てくれる?」が9.0%、「～てくれよ」が8.0%、「～てくれないかな」が5.0%と、どちらも「～てくれない?」がもっとも高い。つまり、父と母に対しては兄・姉の場合と同様に「～てくれない?」がもっとも多く使われている。また「～てくれる?」と「～てくれない?」の敬度については、弟・妹には「～てくれる?」がもっとも多く使われているが、兄・姉と父母には「～てくれない?」が多用されていることから、「～てくれる?」より「～てくれない?」が多少敬度が高いと考えられる。さらに「～てもらう系」については「～てもらえない?」「～てもらえないかな」「～てもらえる?」「～てもらえますか」の形で若干使われている。

なお、依頼の表現形式をみると、表3でも表4でも「～てくれる?」に比べて「～てくれない?」の否定形式の使用比率が高く表れている。このような傾向は表2の聞き手が兄・姉の場合にも同様にみられている。

KJの場合は、「～てください」の比率がもっとも高く、その比率は表3では44.0%、表4では57.0%である。その次に「～てくださいませんか」が高く表れている。つまり、

KJは父と母に対して依頼する場合に「～てください」をもっとも多く使っている。

JJとKJを比べてみると、JJがもっとも多く使っている「～てくれない?」については、表3ではJJの41.0%に対してKJは3.0%、表4ではJJの44.0%に対してKJは3.0%と、大差を見せている。一方、KJがもっとも多く使っている「～てください」については、表3ではKJの44.0%に対してJJは6.0%、表4ではKJの57.0%に対してJJは1.0%と、ここでも差はかなり大きい。このことから、父と母に対して依頼する場合、JJは「～てくれない?」をもっとも多く使っているのに対して、KJは「～てください」をもっとも多く使っていると言えるだろう。

両者の間にこのような違いが生じる原因については、KJの母語の干渉が考えられる。第一に、父と母に対して「～てくれない?」がほとんど使われない理由には、韓国では父と母に対して敬語を使わなければならないが、「～てくれない?」は敬語でないということが考えられる。第二に、目上への依頼表現に「～てください」を多く使っていた理由としては、KJの多くは「～てください」と韓国語の類似表現「～어 주세요」¹⁾を同じ用法と理解し、韓国語において「～어 주세요」が使える場面にそのまま「～てください」を使ったことが考えられる。ところが、「～어 주세요」と「～てください」はすべての場面で一致するわけではない。実際に、JJとKKの使用実態をみると、JJの「～てください」は父と母に対してそれぞれ6.0%と1.0%であるが、KKの「～어 주세요」は父と母に対して47.0%と58.0%でかなり異なることがわかる。

次に、KKの場合をみると、表3では「～어 주세요」が47.0%、「～어 주시면 안 되요?」が9.0%、「～어 주시겠어요?」「～어 주실 수 있으세요?」「～어 고 싶어요」がそれぞれ7.0%、「～어 주시면 안 될까요?」が5.0%と、「～어 주세요」がもっとも多く使われている。また、表4では「～어 주세요」が58.0%、「～어 줘」が14.0%、「～어 주실래요?」が7.0%、「～어 줘요」が6.0%、「～어 주시겠어요?」が4.0%となっており、「～어 주세요」がもっとも多く使われている。つまり、父と母に対して依頼する場合は弟・妹と兄・姉の場合とは異なり、「～어 주세요」が一番多く使われていることがわかる。

また、JJとKKの場合を比較してみると、JJの場合は父と母に対しても、弟・妹と兄・姉に対しても「～てくれない?」「～てくれる?」²⁾などを多く使っている。しかし、KKの場合を見ると、弟・妹、兄・姉には「～어 줄래?」「～어 줘」「～어 주라」を多

1) 生越(1995:57)は、「テクダサイ」には朝鮮語の「命令表現」や「勧誘表現」が対応することがあったが、「～어 주세요」と対応するとみるのが一般的である。」と述べている。

2) 但し、「～てくれない?」と「～てくれる?」の使用においては、より頼みにくい内容ほど否定形式である前者を使う傾向があるという意見もあった。

く使っているのに対し、父と母には「~어 주세요」を多く使っている。この結果から、JJは弟・妹、兄・姉と父・母とを区別せずにほぼ同じ表現を使うのに対して、KKは父母に対しては弟・妹、兄・姉に比べて敬度の高い表現を使っていることがわかる。つまり、聞き手が家族の場合、日本人はたとえ聞き手が目上でも敬語はほとんど使わないのに対して、韓国人は聞き手が目上の場合は敬語を使っていると言えよう。これは両言語における敬語法の違いによるものと考えられる。

また、依頼の表現形式については、JJの日本語の場合は「~てくれない?」「~てもらえない?」などの否定形式が多く使われているのに対し、KKの韓国語の場合はこのような否定形式はほとんど使われていない。このような傾向は後述の聞き手が家族以外の場合にもみられる。

男女差について、「~てくれない?」と「~てくれる?」に関しては表1・表2のところで述べたのでそこをご参考いただきたい。さらに、KJの「~てください」については表3でも表4でも女性の比率が男性より高い。しかし、後で見る聞き手が先輩の場合は男性の比率が女性より高いため、この結果のみで判断するのは難しいと思われる。

KKの場合は、表3と表4でもっとも高い比率を占めている「~어 주세요」は男女差がほとんどみられず、「~어 줘」は女性が、また「~어 주시겠어요?」は男性が高く表れている。

「他の系」については、JJは表3では7.0%、表4では25.0%であるが、その中には「~てほしい」「~ておく」「~てちょうだい」が多く含まれている。それに対して、KJは表3では28.0%、表4では21.0%となっており、その中にはこの文では誤用となる「~てやる/あげる/さしあげる系」が多く含まれている。また、KKは各5.0%でそれぞれの文脈にふさわしくない表現であった。

4.5 聞き手が中学生の場合

☐(あなたは道で、ある中学生に道をきく。)

あなた：あのう、駅までの道を教えて_____

中学生：ああ、駅ですか？ここから歩いて行くのはちょっと遠いですよ…

☐(본인은 길에서 어느 중학생에게 길을 묻는다)

본인：역까지 가는 길을 좀 가르쳐 _____

중학생：예, 역이요? 여기에서 걸어서 가기에 좀 먼데요…

「表5」聞き手が中学生の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①～てもらえますか	21.0(14.0/28.0)	3.0(0/3.9)	①～어 주세요	23.0(18.0/28.0)
②～てくれませんか	19.0(28.0/10.0)	10.0(13.0/9.1)	②～어 줄래요?	17.0(8.0/26.0)
③～てもらえませんか	8.0(8.0/8.0)	0	③～어 줄래?	17.0(28.0/6.0)
④～ていただけますか	7.0(0/14.0)	0	④～어 주실래요?	14.0(12.0/16.0)
⑤～てくれますか	5.0(6.0/4.0)	1.0(0/1.3)	⑤～어 주시겠어요?	12.0(16.0/8.0)
⑥～てくれる?	4.0(6.0/2.0)	14.0(8.7/15.6)	⑥～어 주겠니?	5.0(8.0/2.0)
⑦～てください	4.0(4.0/4.0)	23.0(17.4/24.7)	⑦～어 줄 수 있어요?	2.0(2.0/2.0)
⑧～てくれないかな	3.0(6.0/0)	0	⑧～어 주실 수 있어요?	2.0(0/4.0)
⑨～ていただけませんか	3.0(2.0/4.0)	3.0(4.3/2.6)	⑨～어 주라	2.0(4.0/0)
⑩～てくれない?	2.0(4.0/0)	4.0(8.7/2.6)	⑩～어 줄 수 있겠어요?	1.0(0/2.0)
⑪～てもらえない?	2.0(2.0/2.0)	0	⑪～어 줄 수 있겠니?	1.0(2.0/0)
⑫～てもらいたんだけど	2.0(2.0/2.0)	0	⑫～어 주겠어요?	1.0(0/2.0)
⑬～てくれ	0	4.0(4.3/3.9)	⑬～어 주지 않을래요?	1.0(0/2.0)
⑭～てくれよ	0	2.0(4.3/1.3)	⑭～어 줘	1.0(2.0/0)
⑮～てくれないか	0	2.0(4.3/1.3)	⑮ 他の系	1.0(0/2.0)
⑯～てくださいますか	0	7.0(0/9.1)		
⑰ 他の系	20.0(18.0/14.0)	12.0(4.3/14.3)		
合計	100(100/100)	100(99.7/100)	合計	100(100/100)

4.6 聞き手が友人の場合

☞(故郷の友人があなたの所に遊びに来るので、あなたは駅まで迎えに行くことになっている。しかし、急に用が入って行けなくなったので故郷の友人を知っている他の友人に迎えのことを依頼する。)

あなた：急用ができて、友達の迎えに行けなくなっちゃった。代わりに行って_____

友人：そうか、いいよ。

☞(고향 친구가 본인 집에 놀러 온다고 하여 역까지 마중 나가기로 되어 있다. 그러나 급한 일이 생겨서 고향 친구를 알고 있는 다른 친구에게 마중을 부탁한다)

본인：급한 일이 생겨서, 친구 마중을 못 나가게 되었는데,

대신 좀 나가_____

친구：그래, 내가 나가자 뭐.

「表6」聞き手が友人の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①～てくれない?	29.0(34.0/24.0)	9.0(8.7/9.1)	①～어 줄래?	48.0(56.0/40.0)
②～てくれる?	12.0(10.0/14.0)	28.0(30.4/27.3)	②～어 주라	18.0(26.0/10.0)
③～てもらえる?	12.0(4.0/20.0)	4.0(8.7/2.6)	③～어 줄 수 있니?	7.0(4.0/10.0)
④～てもらえないかな	9.0(18.0/0)	0	④～어 줄 수 있겠니?	4.0(2.0/6.0)
⑤～てくれないかな	7.0(6.0/8.0)	0	⑤～어 주겠니?	4.0(2.0/6.0)
⑥～てもらえるかな	4.0(2.0/6.0)	0	⑥～어 줘	3.0(0/6.0)
⑦～てくれないか	3.0(6.0/0)	8.0(17.4/5.2)	⑦～어 줄 수 있어?	2.0(0/4.0)
⑧～てくれませんか	3.0(4.0/2.0)	6.0(0/7.8)	⑧～어 주면 안 될까?	2.0(0/4.0)
⑨～てくれよ	2.0(4.0/0)	2.0(8.7/0)	⑨～어 주면 안 돼?	2.0(0/4.0)
⑩～てくれ	0	10.0(13.0/9.1)	⑩～어 줄래요?	1.0(0/2.0)
⑪～てもらえない?	2.0(2.0/2.0)	0	⑪～어 주면 안 되겠나?	1.0(2.0/0)
⑫～てもらえますか	1.0(0/2.0)	0	⑫～어 주면 고맙겠다	1.0(0/2.0)
⑬～てくれないの?	0	4.0(4.3/3.9)	⑬～어 주면 좋겠는데	1.0(0/2.0)
⑭～てください	0	1.0(4.3/0)	⑭～어 주었으면 하는데	1.0(2.0/0)
⑮～てくださいますか	0	1.0(0/1.3)	⑮～어 주지 않을래?	1.0(0/2.0)
⑯ 他の系	16.0(10.0/22.0)	27.0(4.5/33.7)	⑯ 他の系	4.0(6.0/2.0)
合計	100(100/100)	100(100/100)	合計	100(100/100)

表5は初対面である中学生に対して、また表6は友人に対して依頼する場合である。JJは、表5では「～てもらえますか」が21.0%と最も高く、その次に「～てくれませんか」が19.0%、「～てもらえませんか」が8.0%、「～ていただけますか」が7.0%、「～てくれますか」が5.0%、「～てくれる?」と「～てください」が各4.0%となっている。このことから、初対面の中学生に依頼する場合は聞き手が弟・妹、兄・姉、父母の場合とは異なり、「～てもらえますか」と「～てくれませんか」のように「～ます系」が多く使われていることがわかる。さらに、「～ていただけますか(7.0%)」と「～ていただけませんか(3.0%)」などの敬語表現については、目上の父母に対してはほとんど使われていないが、目下の中学生には10.0%使われている。つまり、道端で偶然に出会った中学生は初対面であるため、「外」の関係として扱い、敬語を用いたと考えられる。

また表6では、「～てくれない?」が29.0%、「～てくれる?」が12.0%、「～てもらえる?」が12.0%、「～てもらえないかな」が9.0%、「～てくれないかな」が7.0%、「～てもらえるかな」が4.0%で、聞き手が兄・姉、父・母の場合と同様に「～てくれな

い?」の比率がもっとも高い。上記の表5・表6の結果から、JJは敬語を使う基準として年齢よりも「内・外」または親疎関係を重要視していることがわかった。

KJの場合は、表5では「～てください」の比率が23.0%でもっとも高く、その次に「～てくれる?」が14.0%、「～てくれませんか」が10.0%、「～てくれない?」と「～てくれ」が各4.0%、「～てもらえますか」と「～ていただけませんか」が各3.0%となっている。つまり、初対面の中学生に依頼する時には「～てください」が多く使われる傾向にあると言える。

また、表6では「～てくれる?」が28.0%ともっとも高く、その次に「～てくれ」が10.0%、「～てくれない?」が9.0%、「～てくれないか」が8.0%、「～てくれませんか」が6.0%で「～てくれる系」が多く使われている。

さらに、JJとKJを比較してみると、特に表5では両者の違いが明らかに表れている。例えば、「～てもらえますか」と「～てくれませんか」の比率はJJが21.0%と19.0%に対して、KJは3.0%と10.0%である。一方、「～てください」と「～てくれる?」の比率はKJが23.0%と14.0%に対して、JJは両方とも4.0%である。これらの結果から、KJは特に中学生への依頼表現として「～てください」を多く使っているが、それはKJの多くは「～어 주세요」と「～てください」を同じものと理解し、「～어 주세요」が使える場面にそのまま「～てください」を適用したと考えられる。これに付いては表3・4のところに述べてあるのでそこを参照していただきたい。

KKの場合は、表5では「～어 주세요」が23.0%、「～어 줄래요?」と「～어 줄래?」が各17.0%、「～어 주실래요?」が14.0%、「～어 주시겠어요?」が12.0%、「～어 주겠니?」が5.0%となっており、「～어 주세요」がもっとも多く使われている。この傾向は聞き手が父母の場合と同じである。つまり、中学生は話し手より目下であるが、初対面であるため敬意表現を使ったと思われる。このことから、単に話し手と聞き手との年齢差でもって敬意表現を使うか使わないかを判断することは難しいと言えよう。また、表6では「～어 줄래?」が48.0%、「～어 주라」が18.0%、「～어 줄 수 있니?」が7.0%、「～어 줄 수 있겠니?」と「～어 주겠니?」が各4.0%で、「～어 줄래?」がもっとも高く、聞き手が弟・妹の場合と同様の結果となった。

さらに「他の系」については、JJは表5では20.0%、表6では16.0%であるが、その中には「～てほしい系」が多く含まれている。それに対して、KJは表5では12.0%、表6では27.0%で、ほとんどがこの文脈では誤用と見られるものである。また、KKはそれぞれ1.0%と4.0%であった。

4.7 聞き手が先輩の場合

☞(研究室でコンピューターを使っていたら、急におかしくなってしまった。あなたはあまりコンピューターのことをよく知らない。すると、そこにコンピューターのことにとても詳しい先輩が来る。)

あなた：いま使っていたら、急におかしくなっちゃったんです。ちょっと見て_____

先輩：そうか、いいよ。

☞(연구실에서 컴퓨터를 사용하는 도중 갑자기 컴퓨터가 이상해졌다. 본인은 컴퓨터를 잘 모른다. 그때 컴퓨터에 대해서 잘 아는 선배가 왔다)

本 人：사용하는 도중에 갑자기 이상해졌어요. 좀 봐 _____

선 배：그래, 어디보자.

「表7」聞き手が先輩の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①~てもらえますか	29.0(24.0/34.0)	3.0(4.3/2.6)	①~어 주세요	48.0(44.0/52.0)
②~くれませんか	18.0(26.0/10.0)	5.0(13.0/2.6)	②~어 주실래요?	21.0(24.0/18.0)
③~いただけますか	15.0(6.0/24.0)	1.0(0/1.3)	③~어 주시겠어요?	9.0(6.0/12.0)
④~ください	11.0(14.0/8.0)	48.0(52.1/45.5)	④~어 줘요	6.0(8.0/4.0)
⑤~てもらえませんか	10.0(14.0/6.0)	2.0(4.3/1.3)	⑤~어 주소	3.0(6.0/0)
⑥~くれますか	6.0(12.0/0)	0	⑧~어 주겠습니까?	2.0(4.0/0)
⑦~いただけませんか	3.0(2.0/4.0)	2.0(0/2.6)	⑦~어 주실 수 있어요?	2.0(0/4.0)
⑧~くださいませんか	2.0(2.0/2.0)	21.0(17.4/22.1)	⑧~어 줘	2.0(2.0/2.0)
⑨~くださいますか	2.0(0/4.0)	0	⑨~어 줄래요?	1.0(2.0/0)
⑩~てくれる?	0	3.0(0/3.9)	⑩~어 주면 안되겠어요?	1.0(2.0/0)
⑪~てくださる?	0	5.0(4.3/5.2)	⑪~어 주라	1.0(2.0/0)
⑫ 他の系	4.0(0/8.0)	11.0(4.3/13.0)	⑫ 他の系	4.0(0/8.0)
合計	100(100/100)	100(100.1/100)	合計	100(100/100)

4.8 聞き手が先生の場合

☞(あなたは今日までに提出しなければならないレポートがあるが、風邪で、まだ出来上がっていない。そこで、あなたは先生に相談に行く。)

あなた：先生、実は風邪をひいてしまって…寝込んでいたので、レポートがまだ出来ていないんです。申し訳ないんですが、レポートの期限をあしたまで延ばして_____

先 生：しょうがないなあ、あしたの昼までならいいよ。

☞(본인은 오늘까지 제출해야 될 레포트가 있는데, 감기때문에 아직 다 못했다. 그래서 교수님께 상의하러 갔다)

본인 : 교수님! 실은 감기때문에 레포트를 아직 다 못했습니다.

죄송하지만, 레포트 제출기간을 내일까지 연기해_____

교수 : 그래, 내일 점심 때까지라면 괜찮아.

「表8」聞き手が先生の場合

表現 \ 対象	JJ	KJ	表現 \ 対象	KK
①~していただけないでしょうか	29.0(22.0/36.0)	0	①~어 주시겠습니까?	29.0(34.0/24.0)
②~いただけませんか	25.0(18.0/32.0)	12.0(26.1/7.8)	②~어 주세요	20.0(28.0/12.0)
③~くれませんか	10.0(18.0/2.0)	2.0(0/2.6)	③~어 주시면 안 되겠습니까?	12.0(8.0/16.0)
④~てもらえないでしょうか	8.0(10.0/6.0)	0	④~어 주실 수 있겠습니까?	8.0(2.0/14.0)
⑤~てもらえませんか	7.0(8.0/6.0)	0	⑤~어 주시면 안 될까요?	5.0(0/10.0)
⑥~いただけますか	5.0(6.0/4.0)	2.0(0/2.6)	⑥~어 주시면 안 되요?	4.0(0/8.0)
⑦~てください	2.0(2.0/2.0)	32.0(30.4/32.5)	⑦~어 주실 수 있습니까?	4.0(6.0/2.0)
⑧~くれないでしょうか	2.0(4.0/0)	0	⑧~어 주실 수 없습니까?	4.0(2.0/6.0)
⑨~てもらえますか	2.0(2.0/2.0)	0	⑨~어 주실 수 있으시겠습니까?	3.0(6.0/0)
⑩~くださいませんか	1.0(0/2.0)	25.0(17.4/27.3)	⑩~어 주면 안 되겠습니까?	2.0(2.0/2.0)
⑪~くださる?	0	4.0(4.3/3.9)	⑪~어 주시면 감사하겠습니다	2.0(4.0/0)
⑫ 他の系	9.0(10.0/8.0)	23.0(21.8/23.3)	⑫~어 주셨으면 하는데요	2.0(4.0/0)
			⑬~어 주실래요?	2.0(0/4.0)
			⑭~어 주셨으면 합니다	1.0(2.0/0)
			⑮~어 주시지 않겠습니까?	1.0(0/2.0)
			⑯ 他の系	1.0(2.0/0)
合計	100(100/100)	100(100/100)	合計	100(100/102)

表7と表8は先輩と先生に対して依頼する場合の依頼表現の使用傾向である。JJの場合は、表7では「~てもらえますか」が29.0%ともっとも高く、その次に「~くれませんか」が18.0%、「~いただけますか」が15.0%、「~てください」が11.0%、「~てもらえませんか」が10.0%、「~くれますか」が6.0%となっている。また、表8では「~していただけないでしょうか」が29.0%、「~いただけませんか」が25.0%、「~くれませんか」が10.0%、「~てもらえないでしょうか」が8.0%、「~てもらえませんか」が7.0%、「~いただけますか」が5.0%となっており、特に「~していただけないでしょうか」と「~いただけませんか」の比率が高く表れている。つまり、先輩には「~てもらえませんか」(「~てもらえますか」)がもっとも多く使われているのに 対して、先生

には「～ていただく系」（「～ていただけないでしょうか」「～ていただけませんか」）が多く使われている³⁾。この結果から、先生に対しては先輩より一層丁寧に待遇していると言えよう。

さらに「～てください」は先輩には11.0%、先生には2.0%と、特に先生に対してはほぼ使われていない。

KJの場合は、表7では「～てください」が48.0%ともっとも高く、その次に「～てくださいませんか」が21.0%、「～てくれませんか」と「～てくださる？」が各5.0%である。また、表8では「～てください」が32.0%ともっとも高く、その次に「～てくださいませんか」が25.0%、「～ていただけませんか」が12.0%、「～てくださる？」が4.0%となっている。これらの結果から、KJは父母の場合と同様、先輩と先生に対して依頼する場合も「～てください」を多用していることがわかった。

さらに上の結果を見ると、特に先生に対する依頼表現として、JJは「～ていただけないでしょうか」と「～ていただけませんか」を多く使っているのに対して、KJは「～てください」を多く使っている。このようにKJが依頼表現として「～てください」を多く使っている理由についてはすでに表3・表4のところに述べてある。

KKの場合は、表7では「～어 주세요」が48.0%、「～어 주실래요？」が21.0%、「～어 주시겠어요？」が9.0%、「～어 줘요」が6.0%などで「～어 주세요」がもっとも多く使われている。また、表8では「～어 주시겠습니까？」が29.0%、「～어 주세요」が20.0%、「～어 주시면 안 되겠습니까？」が12.0%、「～어 주실 수 있겠습니까？」が8.0%、「～어 주시면 안 될까요？」が5.0%などで「～어 주시겠습니까？」がもっとも多く使われている。つまり、この結果から、KKは先輩と先生に対して依頼するのに「～어 주세요」「～어 주실래요？」と「～어 주시겠습니까？」を多く使っていることがわかった。また、先輩または先生への依頼表現としては「～어 주세요」が多く使われていたが、この傾向は聞き手が父・母の場合にも初対面の中学生の場合にも同様にみられた。

男女差については、JJは「～ていただく系」、つまり「～ていただけますか」「～ていただけないでしょうか」「～ていただけませんか」は女性が男性よりも高くなっている。この結果から女性が男性よりも敬度の高い表現を使っていると考えられる。

次に、KJが多く使っている「～てください」については女性が男性よりもやや高表れている。また、KKの「～어 주세요」「～어 주시겠어요？」「～어 주실래요？」の男女差は表7と表8では正反対に表れているため、女性が男性よりも敬度の高

3) 先生に対しては「～ていただけないでしょうか」「～ていただけませんか」「～てくれませんか」「～てもらえないでしょうか」「～もらえませんか」などの否定形式の使用比率が一層高表れている。

い表現を使用しているとは一概には言えないだろう。

「他の系」については、表7と表8でそれぞれJJは4.0%と11.0%に対して、KJは11.0%と23.0%であるが、特にKJはこの文脈では誤用と見られるものが多く含まれている。また、KKはそれぞれ4.0%と1.0%である。

5. まとめ

以上、JJとKJの日本語の依頼表現と、KKの韓国語の依頼表現の使用実態について考察を行った。その結果をまとめると、以下の通りになる。

JJは、聞き手が家族の場合(弟・妹、兄・姉、父母)と友人の場合は「～てくれない?」「～てくれる?」の使用比率が高く、また中学生の場合は「～てもらえますか」「～てくれませんか」が、先輩の場合は「～てもらえますか」「～てくれませんか」「～いただけますか」が高い。このことから、聞き手が家族の場合、年齢差による違いはほとんどみられないことがわかった。さらに、聞き手が先生の場合には「～していただけませんか」「～していただけませんか」が高く表れた。つまり、家族と友人には「～てくれる系」が、先輩には「～てもらえる系」が、先生には「～いただく系」がもっとも多く使われていると言えよう。

KJは、聞き手が弟・妹、兄・姉、友人の場合には「～てくれる?」の比率が高く、父母、中学生、先輩、先生の場合には「～てください」の比率がもっとも高い。つまり、KJはJJとは違い、聞き手が家族の場合でも上下による違いが明らかに表れている。

KKは、聞き手が父母、中学生、先輩の場合は「～어 주세요」がもっとも高く、また聞き手が先生の場合は「～어 주세요」が「～어 주시겠습니까?」の次に高く表れている。このことから、韓国語では依頼表現として「～어 주세요」が多く使われていると言えよう。

JJとKKを比較してみると、JJの日本語では「～てくれない?」「～てくれませんか」「～てもらえない?」「～てもらえませんか」「～てもらえないでしょうか」「～していただけませんか」「～していただけませんか」などの否定形式が多く使われているが、KKの韓国語では否定形式の使用比率がかなり低く表れている。よって、KJがJJに比べて依頼表現に否定形式をあまり使わない原因の一つとして母語の影響が考えられる。

また、JJとKJを比べてみると、JJは依頼表現として「～てください」をほとんど使っていないのに対して、KJは特に目上に対して「～てください」をもっとも多く使っている。そ

の要因としては、KJの多くは「～てください」と韓国語の類似表現「～어 주세요」を同じ用法と理解し、韓国語において「～어 주세요」が使える場面にそのまま「～てください」を使ったことが挙げられる。このことから、KJの日本語使用においては母語の干渉を受ける場合があると考えられる。

【参考文献】

- ・ 生越まり子(1995)「依頼表現の対照研究－朝鮮語の依頼表現－」『日本語学』10月号 日本語教育学会. p57
- ・ 柏崎雅世(1993)『日本語における行為指示型表現の機能』くろしお出版. p29
- ・ 佐藤里美(1992)「依頼文－してくれ、してください－」『ことばの科学5』むぎ書房. p114
- ・ 中道真木男・土井真美(1995)「日本語教育における依頼の扱い」『日本語学』10月号 明治書院. pp84～85
- ・ 前田広幸(1990)「「～てください」と「お～ください」」『日本語学』5月号 明治書院
- ・ 森田良行・松木正恵(1989)『日本語表現文型』アルク
- ・ 山田敏弘(2004)『日本語のベネファクティブ』明治書院. pp227～229
- ・ 吉川武時(1979)「「しててくださいの意味-「待って下さい」と「待っていて下さい」の使い分け-」日本学校論集6号
- ・ バルバラ・ピッツィコーニ(1997)『待遇表現から見た日本語教科書』くろしお出版

要 旨

本稿では、依頼の表現形式について、日本語の場合はJJ(日本語母語話者)とKJ(韓国人日本語学習者)を対象に調査して両者の違いを考察した。また、KJ(韓国人日本語学習者)の母語の干渉をみるためにKK(韓国語母語話者)の韓国語の依頼表現の使用実態を考察した。その結果、以下の点が明らかになった。

JJの場合、聞き手が家族の場合(弟・妹、兄・姉、父母)と友人の場合は「～てくれない?」「～てくれる?」が、中学生の場合は「～てもらえますか」「～てくれませんか」が、また先輩の場合は「～てもらえますか」「～てくれませんか」「～いただけますか」が多く使われている。このことから、家族の場合は年齢による違いがほとんどないことがわかった。さらに、聞き手が先生の場合は「～していただけないでしょうか」「～いただけませんか」が多く使われている。つまり、家族と友人の場合には「～てくれる系」が、先輩の場合には「～てもらえる系」が、そして先生の場合には「～ていただく系」が多く使用される傾向にあると言える。また「～てください」については聞き手が先輩の場合に11.0%使われているだけでその他ではほとんど使われていない。

KJの場合は、聞き手が弟・妹、兄・姉、友人の場合には「～てくれる?」が、聞き手が父母、中学生、先輩、先生の場合は「～てください」がもっとも多く使われている。つまり、KJはJJとは違い、聞き手が家族の場合でも上下による違いが明らかに表れている。

KKの場合は、聞き手が父母、中学生、先輩の場合は「～어 주세요」がもっとも多く使われ、また聞き手が先生の場合は「～어 주세요」が「～어 주시겠습니까?」の次に多く使われている。このことから、韓国語では依頼表現として「～어 주세요」が多く使われていると言えよう。

JJとKJとを比較してみると、JJは依頼表現として「～てください」をほとんど使っていないのに対し、KJは目上に対して「～てください」をもっとも多く使っている。その原因については、KJの多くは「～てください」と韓国語の類似表現「～어 주세요」を同じ用法と理解し、韓国語において「～어 주세요」が使える場面にそのまま「～てください」を使ったことが挙げられる。このことから、KJの日本語使用においては母語の干渉を受けていることがわかる。したがって、KJに日本語の依頼表現を教える場合、特に「～てください」については十分な説明が必要となるであろう。

キーワード：聞き手、母語話者、依頼、初対面、男女別、内外、親疎関係

투 고 : 2006. 8. 31
1차 심사 : 2006. 9. 9
2차 심사 : 2006. 9. 30

住 所 : (320-931) 충남 논산시 상월면 대명리 14-9 금강대학교
電 話 : 041-731-3455
e-mail : cnkim42@hotmail.com

K C I